

**[参考]**

**CNGの原料費調整制度（平成28年10月分のご請求から適用開始）の概要**

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月CNG価格の基準単位料金（CNG1m<sup>3</sup>当たりの基準単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と、「平均原料価格（料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、CNG1m<sup>3</sup>当たり0.08748円（0.081円に1.08（消費税率）を乗じた値）を基準単位料金に加減して調整します。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円/t（上限値）を超えた場合、「平均原料価格」は91,600円/tとして基準単位料金を調整します。
- ・ ここで示す基準平均原料価格、基準単位料金および基準単位料金調整額については、平成28年10月分のご請求から適用のTGカード利用約款に基づき、消費税率を8%とする金額を表示しております。

**(1) 原料価格の実績 (円/t)**

算定期間	平成29年5月から 平成29年7月の平均
平均原料価格	48,760 (a)
LNG	48,640
LPG	48,690
基準平均原料価格	57,250 (b)
差 額 (a-b)	-8,400

\* LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。

\* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額（a-b）は100円未満切捨て。

**(2) 基準単位料金調整額の算定方法**

<原料価格の変動による基準単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

LNG平均価格（貿易統計値） 48,640 円/t × 0.9479

LPG平均価格（貿易統計値） 48,690 円/t × 0.0546

+) \_\_\_\_\_

48,764.330 円/t

↓ (10円未満四捨五入)

48,760 円/t

■ 原料価格変動額の算定

48,760 円/t

—

57,250 円/t

-8,490 円/t

↓ (100円未満切り捨て)

-8,400 円/t

■ 基準単位料金調整額（m<sup>3</sup>あたり調整額）の算定

基準単位料金調整額 = -8,400円 / 100円 × 0.08748<sup>※1</sup>

= -7.35 円 (小数点第3位切り上げ)

※1 変動額100円につき基準単位料金を1m<sup>3</sup>当たり0.08748（0.081×1.08）円調整します。

(3) 基準単位料金との比較

(消費税込)

年換算使用量 ( $\text{m}^3$ )	平成29年10月 適用単価 (円/ $\text{m}^3$ )	基準単位料金 <sup>※2</sup> (円/ $\text{m}^3$ )	対基準変動額 (円/ $\text{m}^3$ )
5千 $\text{m}^3$ 未満	92.83	100.18	-7.35
5千 $\text{m}^3$ 以上～1万 $\text{m}^3$ 未満	90.67	98.02	-7.35
1万 $\text{m}^3$ 以上～2万 $\text{m}^3$ 未満	88.51	95.86	-7.35
2万 $\text{m}^3$ 以上～3万 $\text{m}^3$ 未満	86.35	93.70	-7.35
3万 $\text{m}^3$ 以上～4万 $\text{m}^3$ 未満	84.19	91.54	-7.35
4万 $\text{m}^3$ 以上～5万 $\text{m}^3$ 未満	82.03	89.38	-7.35
5万 $\text{m}^3$ 以上～10万 $\text{m}^3$ 未満	79.87	87.22	-7.35
10万 $\text{m}^3$ 以上～20万 $\text{m}^3$ 未満	78.79	86.14	-7.35
20万 $\text{m}^3$ 以上	78.49	85.84	-7.35

※2 平成28年10月分のご請求から適用のTGカード利用約款に基づく基準単位料金（消費税率8%）を表示しております。